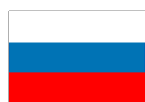


折木元統合幕僚長提出資料

1 安全保障環境の激動：戦後最大級の難局

- ✓ 深刻な危機感：「我が国は戦後最大級の難局に直面」
- ✓ 安全保障概念の広がり＝**防衛力を核心に、国家の総合力を必要**とする時代
- ✓ 「抑止力」と「対処力」の抜本的強化へ
～**まずは抑止、そしてハイブリッド戦から伝統的戦いまでの覚悟と備え**～



ウクライナへの全面侵攻
中国との連携強化
北方領土の装備の近代化

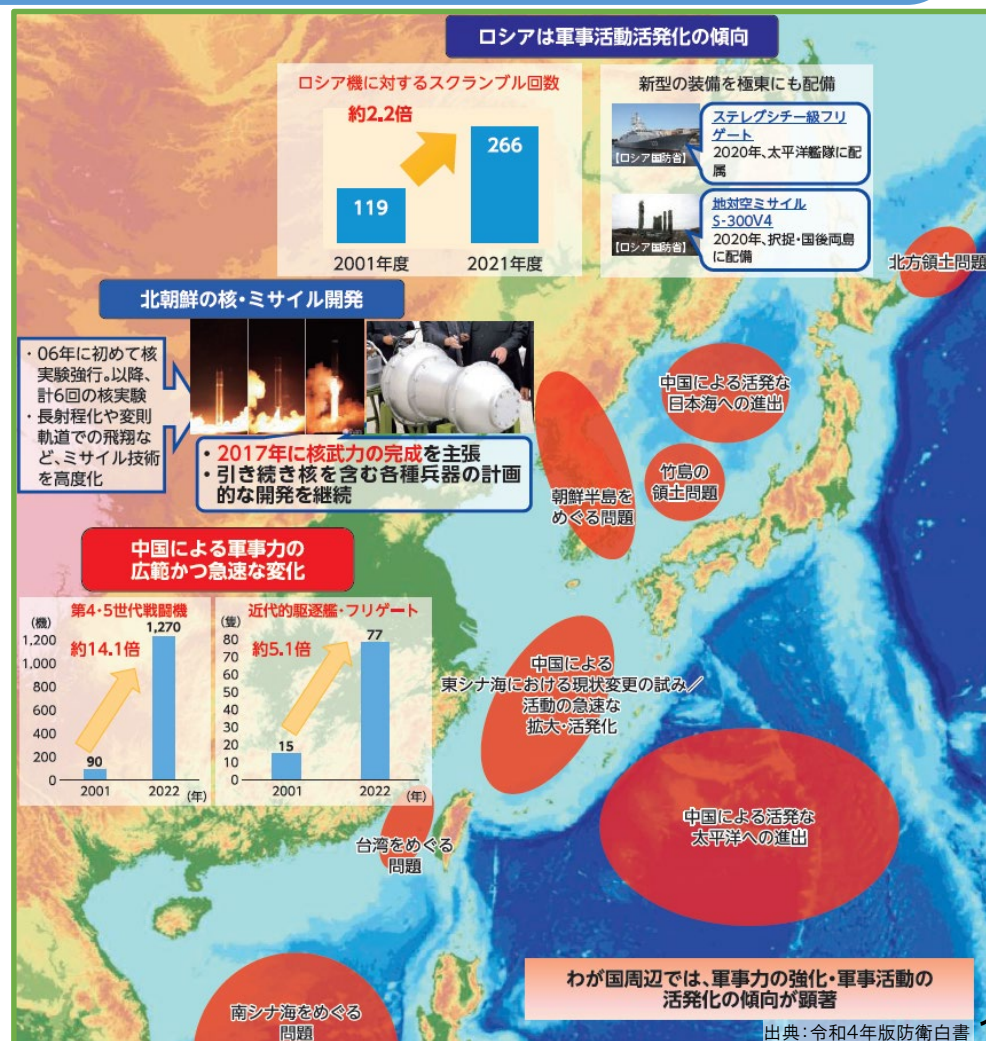


鮮明化する米国との対立
台湾武力侵攻の可能性
日本周辺での高圧的な軍事活動



核ミサイル開発は
瀬戸際外交のカードから
攻撃力そのものに変質

相手の意図の変化次第で
いつでも有事となりうる
脅威の最前線にある日本



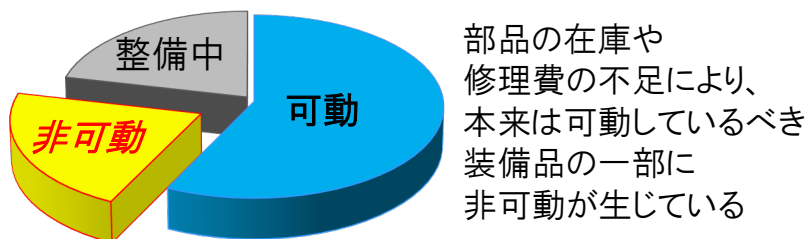
2 真に戦える自衛隊へ：防衛力の持続性・強靱性の抜本的強化

- ✓ 当時の安全保障環境と「優先順位」の結果、これまで後手に回ってきた継戦能力
- ✓ 戦力発揮の前提となる機能や施設が脆弱な状況を早期に改善する必要
- ✓ 「第一線から後方まで、組織全体の戦力化」により「真に戦える自衛隊」へ

装備品の維持・整備

- 防衛装備品の高度化・複雑化
調達単価と整備費用が上昇
- 部品不足等
可動状態にない同じ装備品から
部品を取り出し転用する、いわゆる
「共食い整備」を行う装備品も存在
- 装備品の生産・維持・整備を
実質的に支える防衛産業は
戦力そのもの

装備品の可動状況(イメージ)



弾薬

- 技術の高度化に伴い価格は上昇
弾薬予算は過去30年間、概ね横ばいで推移
- 教育訓練用の弾薬も十分ではない
- 必要な場所に弾薬庫の整備・備蓄推進

施設

- 司令部などの重要施設の地下化や
構造強化・分散などにより、
必要な機能の強靱化を図る必要
- 陸自駐屯地、海空自基地の
機能の抗たん化・分散化

3 「相手が嫌がり、強化されると痛い分野」への投資

✓ 抑止力に直結する新しい能力も最大限のスピードで投資する必要

「反撃能力」

周辺国がミサイル能力を
質・量ともに向上させている中、
日本はミサイル防衛のみに依存し
多大なコスト賦課を強いられている



「反撃能力」により、抑止力を向上し、相手により複雑な対応を迫り、コストを賦課することが可能

抑止力向上のための戦略的一手

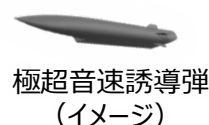
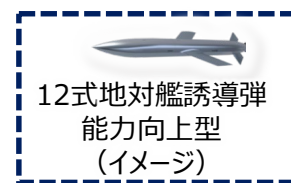
この間隙を埋め、
相手へのコスト賦課と我が抑止力を向上



例えば…

「スタンドオフミサイル」の活用

それぞれ特徴の異なるスタンドオフミサイルを
全体的にシステム化し、
陸・海・空の様々な場所から
大量に発射できる態勢を構築すれば
抑止力は大きく向上



ファミリー化によるプラットフォームの多様化など



4 「人」は戦力の基盤

「人」は戦力の基盤であり、継戦能力の重要な要素、教え育てる時間が必要

✓ まず、定数・実員の乖離を解消し、必要なところに、十分な人的戦力を投入

サイバー・宇宙など新分野の人材確保

高度な技能を持つ人材を確保するため、
教育拡充による中長期的な部内育成に加え、
民間から柔軟に人材を取り入れる制度を構築

退職自衛官の活用

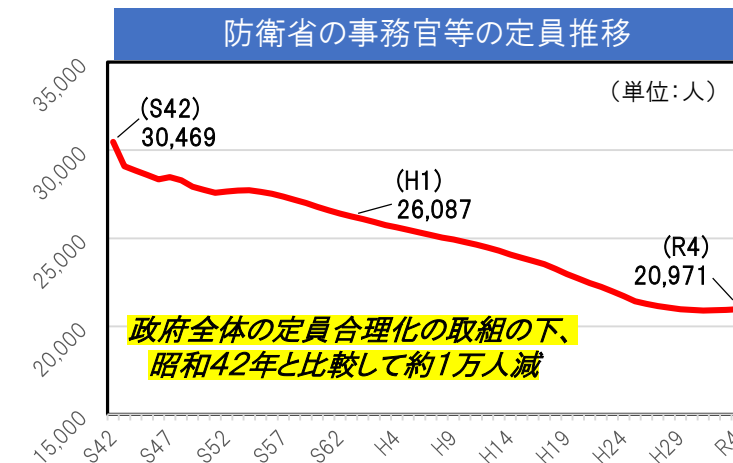
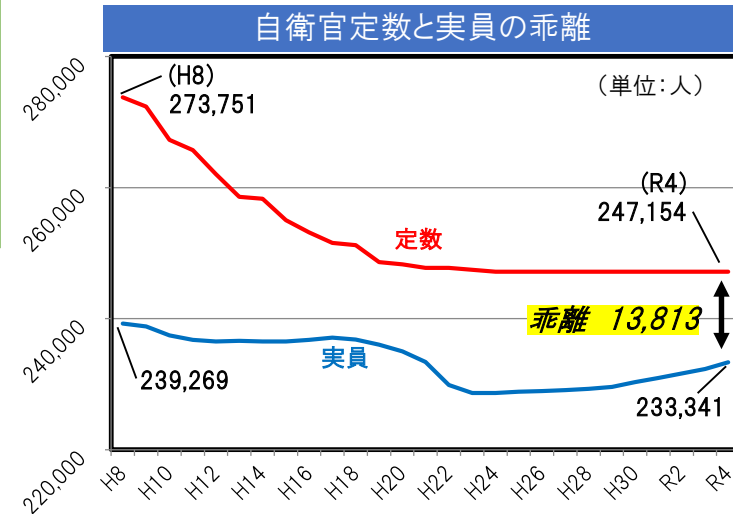
現職自衛官の職務をカバーするため、
経験等を豊富に備えた**退職自衛官の活用**を拡充

事務官・技官の増員

事務官等の一律の定員削減により、
自衛隊の戦力維持に悪影響を及ぼしている

人材の獲得・維持のための施策

各人が後顧の憂いなく能力を発揮するため、
勤務の特殊性に対応する手当や処遇の向上、
環境整備



5 研究開発で負ければ、将来の戦いで負ける

✓ 先端技術の優位性は、国家戦略、軍事面で決定的な意義:戦い方、備えが変わる

デュアルユース技術

研究開発の促進は極めて重要
他方、具体的な装備に繋がらなければ、防衛に寄与しない



部隊の運用ニーズとの吻合を踏まえた
重点投資を図った上で、
様々な研究開発の成果を防衛分野に活用し、
早期に装備化・戦力化していく仕組みが必要
(消耗更新理論等の見直し)

【参考1】実装の形が明確で、運用ニーズや防衛への寄与が想定される技術の例

実装の形	区分	概要(適用例)
スクラム・ ジェット・ エンジン	民生用途	・極超音速旅客機 ・宇宙往還機 (JAXA事業)
	防衛用途	・極超音速誘導弾 (防衛省事業)

【参考2】中国の「軍民融合」

○ 軍民融合は中国が近年国家戦略として推進する取組であり、緊急事態を念頭に置いた従来の国防動員体制の整備に加え、緊急事態に限られない平素からの民間資源の軍事利用や、軍事技術の民間転用などを推進するものとされている。特に、海洋、宇宙、サイバー、人工知能(AI)といった「新興領域」は軍民融合の重点分野。

6 自衛隊への大規模投資による防衛力の抜本的強化を

- ✓ 「防衛力の抜本的強化」は将来の日本を守るスタートであり、最後のチャンス
- ✓ 「何ができるか」ではなく、「何をなすべきか」という発想への転換

自衛隊への大規模投資の効果

- 国民を守り抜くという国家の意志の明確な表明
- 防衛力の抜本的強化
抑止力・対処力を強化するために不可欠
- 対GDP比2%に係る、防衛力の実効的議論は
抑止力と同盟の信頼性を向上

【参考】ドイツによる連邦軍特別基金設立と国防費対GDP比2%以上への引き上げについて

- ドイツは、本年、借入による1,000億ユーロの連邦軍特別基金を設立。今後、特別基金からの支出と併せて、最長5年間の平均国防費(NATO基準)を対GDP2%以上に引き上げを表明。
- 特別基金は、軍の能力ギャップを縮小するため、特に複数年にわたる重要な装備品を調達する財源として使用される。